

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

読書普及講演会 報告

昔話のおもしろさを再発見



たくさんの方に図書館を利用していただこうと、著名人をお迎えして毎年開催している読書普及講演会。今年度は、小澤昔ばなし研究所所長の小澤俊夫さんをお招きし、10月6日(木)午後6時半より中原市民館の多目的ホールで開催しました。

講演のタイトルは「昔話はおもしろい」。グリム童話や昔話研究の第一人者である小澤さんは、川崎市多摩区に「小澤昔ばなし研究所」を創設され、研究拠点として活動されています。講演会では、身近でありながら意外と知らない昔話のおもしろさや魅力についてお話しいただきました。前半は、昔話の面白さの秘密を昔話独特の文法から解き明かし、後半では、昔話は何を語っているのかという昔話のメッセージについてお話くださいました。ご参加いただいた270名の皆さんは、実際の昔話を交えたそのお話に聞き入っていました。参加者の半数近くは、図書館での講演会は初めてという方でしたが、小澤さんの軽妙な語り口で昔話の奥深さを改めて実感できた様子でした。

● 講演会でのお話と参加者の感想の一部をご紹介します

シンプルに語ることが
子どもたちに
伝える力になると
実感しました。

昔話は本の中にあるのではなく、語られている時間のあいだにだけ存在する。聞き手にすんなりと理解してもらえようように、シンプルでクリア(単純で明快)に語られなくてはならない。

昔話には残酷な場面はたくさんあるが、残酷(血なまぐさい)な話はない。なぜ残酷な場面を語るのか。それは最後のハッピーエンドに向うための試練である。

昔話を子供に読み聞かせるとき、ここはちょっと残酷だなあと思ったことがあります。先生のお話を聞いて納得しました。

身近な大人から生の声で聴く昔話が子どもたちを育ててきた。短いお話の中に子どもたちが生きていく上でのメッセージがこめられている。
例えば三年寝太郎。寝太郎は一生寝ていたわけではない。途中で起きた。ここに強く生きろというメッセージがある。

白雪姫、灰かぶりの話は
読んだことはありましたが、
別なかたちのものと思っていました。
本来は3つのリズムだ
ということがわかりました。

昔話は同じことを3回繰り返すのが好き。白雪姫は、紐・櫛・リンゴで3回死んでいる。シンデレラがガラスの靴を置いてきたのは3回目の舞踏会。この繰り返しはかけがえのない自然のリズム。白雪姫の紐と櫛はカットできない。物語を壊してはいけない。

育児へのヒントも
たくさんあり、子育て中の
立場からも面白い内容でした。
昔話を子どもたちに
読んであげたいと
思いました。

昔話が生きてつながって
いたとは思っていませんでした。
子どもとの関わりを考える
よいきっかけになりそうです。

平成28年度 イベント報告

川崎フロンターレと 本を読もう!

今年度もJ1サッカークラブ「川崎フロンターレ」と協働で、サッカーと読書を盛り上げる活動を行いました。

その様子をご紹介します。ご参加ありがとうございました。

川崎フロンターレ現役選手による 中原図書館一日図書館長



カウンターにて

平成28年10月19日(水)

当日のお楽しみだった一日図書館長は原川力選手でした。カウンターに立ったり、子どもたちに紙芝居や絵本の読み聞かせをしてくれました。

なかにはフロンターレのユニフォームを着て参加してくれた子どもたちもいましたが、「お話だけでなく、サッカーの演技が見られたり、質問コーナーがあったり楽しかったです!」と、選手との距離の近さに大興奮でした。



はじめての読み聞かせに
ちょっとドキドキ

ひとみ座とふるん太くんの人形劇と工作(ペープサート)



人形劇に大盛り上がり

平成28年11月5日(土) 教育文化会館・11月22日(火) 麻生市民館

12月4日(日) 多摩市民館・12月20日(火) 高津市民館

人形劇団ひとみ座とふるん太くんの人形劇や絵本の読み聞かせのほか、ペープサート作りも楽しみました。



ふるん太くんと大型絵本の読み聞かせ



出来上がったペープサートににっこり

フロンターレ選手が選ぶ「わたしの1冊」

わが街・川崎のJ1サッカークラブ「川崎フロンターレ」と図書館との合同企画です。第21回は、小林悠選手が選ぶ1冊を紹介します。

『悪夢の観覧車』 木下半太／著 幻冬舎刊 2008年

《内容紹介》 大観覧車をジャックしてスイッチひとつで爆発する。しかも身代金の要求は誰もが知っているその観覧車の上だという。そんな場所でどうやって渡すのか。誘拐されたワケあり美人医師などあらゆる登場人物が織り成す糸が最後の最後にかみ合っていく。最後の1ページまでワクワクする物語です。



KAWASAKI
Frontale



*** 小林選手より ***

栗平にある本屋さんは、おすすめコーナーがあるので必ず見るのですが、その中で「あっと驚かされたゾーン」に紹介されていた5冊のうちの1冊です。帯にも惹かれました。とにかく面白くてスピード感があるのですが、最後の方で、誘拐する動機が実は切なくて悲しい理由だったことがわかります。そのために動いていたのかということを知り、絶対に成功してほしいと僕まで思っていました。とにかく面白いので、本に興味がない学生でも読めると思います。僕は読んでおもしろかったので、マサキ(山本真希選手:現ジェフユナイテッド市原・千葉)に薦めたらマサキも面白かったと言ってました。

【FW11小林悠選手】

細かな動き直して対峙するDFと駆け引きをしながら相手の逆を取り、絶妙のタイミングで裏のスペースに抜け出すプレーが最大の武器。フロンターレファンには読書好きで有名。

第31回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。
今回は川崎が誇る「ものづくり」をテーマにした本を紹介します。



A：『なぜ、川崎モデルは成功したのか？』

ー中小企業支援にイノベーションを起こした川崎市役所ー

藤沢久美／著 実業之日本社 2014

若い職員を中心とした勉強会から生まれた「川崎モデル」。川崎市が中小企業支援を行っていくうえで熱い志を持った職員と、スキルを持った企業がチームを組み、新しい商品やイノベーションを生み出していく過程に著者が密着し、詳細に綴られています。企業と川崎市の支援が融合し、ものづくりに取り組む企業や技術者の姿も数多く語られています。



A



B

B：『新・川崎元気企業 ー国際イノベーション都市・川崎への道ー』

川崎市産業振興財団／編 川崎元気企業研究会／著 神奈川新聞社 2013

3つのイノベーション（環境、医療・生命、福祉）により、国際社会への貢献を目指す川崎市の企業60社が紹介されています。

大規模な企業ではなくとも、どこにも負けない信念や技術を持った企業が紹介されています。ものづくりの他にも環境エネルギーや生活文化など、様々な業務を行う企業を知ることができます。

C：『リリエンベルグのコンフィチュール』

横溝春雄／著 誠文堂新光社 2010

川崎市麻生区にウィーン菓子工房「リリエンベルグ」を開店し、「食」のかわさきマイスターにも選ばれている横溝春雄氏。その横溝氏で自身の修業時代の様子から、リリエンベルグの経営やスタッフの育成についての考え方で掲載されています。そして、コンフィチュールをはじめ、スイーツのレシピも写真入りで詳細に記されています。ものづくりに関わる職人としての考えや経験を知ることができ、さらにおいしいお菓子のつくり方も習得できるお得な1冊です。

※コンフィチュール：果物の砂糖煮、ジャムのこと。

D：『匠の技 川崎の職人仕事』

川崎市経済労働局労働雇用部 2013

川崎市から出されている冊子で、川崎市で働く職人の仕事を垣間見ることができます。ご近所の職人さんも掲載されているかもしれません。これから職人を目指す方や、進路を見つけない若い人にお勧めです。



D

成人式で「20にまつわる本の話」冊子を配布

川崎市では、「読書のまち・かわさき」事業の一環として、毎年フロンターレ選手が選んだお薦め本を紹介する冊子『キックオフ！“読書のまちかわさき”』を発行しています。

平成28年10月に配布を開始したVol.8では、川崎フロンターレ20周年を記念し、選手6人が「20」にまつわる本を紹介しています。

これにちなんで、成人式当日、とどろきアリーナ横の催し物広場に設置された情報コーナーにて、新成人の皆さんにこの冊子を配布しました。

各図書館でも配布中ですので、ぜひご覧ください。



図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

高津図書館長 森川 みどり

■パウロ・コエーリョ

『アルケミスト 夢を旅した少年』

一年ほど前に通勤のお供にと、娘の本棚から偶然に拝借した文庫本が今では私のお気に入りの一冊です。へこんだ気持ちになった時などに読み返して自分に声援を送ります。

この物語の主人公はスペインの羊飼いの少年で、名はサンチャゴ。彼を待つ宝が隠されているという夢を信じ、単身アフリカ大陸に渡り、エジプトのピラミッドを目指すという童話。旅を始めたばかりの地でお金を騙し取られてしまったサンチャゴは、様々な人との出会いや別れ、危機を乗り越えて、生きる知恵を学び成長していきます。そして最後につかんだ宝とは…。

サンチャゴが、物語の中でアルケミストから言われたこと。

「すべての人にはその人を待っている宝物がある。」
「他人からは理解してもらえなくても、自分の宝物は大切にしよう。」

物語では、夢をあきらめた人、夢のままだが幸せな

のだと思う人、夢は叶うと信じて行動する人…が出てきます。自分がどのタイプかも気になりますよね。

また、「子どもの頃は夢や宝がはっきりとわかっていても、大人になるとぼんやりとしてくる。それは、傷つくことや失敗を恐れてあきらめたりするからだ。そして簡単には前に進めなくなる。」とも言っています。たしかにそうかもしれません…。

一見して、青少年に向けた冒険物語のようですが、大人が読んででも十分に楽しめる内容で、少しの勇气と希望をもらえる一冊としてお薦めします。

*この物語は、1988年にブラジルで出版されると瞬く間にベストセラーとなり、『星の王子さま』サン・テグジュペリ作と、並び称されるほどの名著として世界で愛され続けています。

■高津図書館

高津図書館は、東急田園都市線高津駅から徒歩5分、溝口緑地の奥にあります。緑地には、島崎藤村が書いた「国木田独歩」の碑や、岡本太郎の母で歌人の「岡本かの子」の歌碑があります。そして図書館前には読書をする「学君」の像が皆さんをお迎えします。緑に囲まれた環境もあり、親子連れから高齢者まで、多くの方が訪れますので、子どものためのおはなし会や介護予防の健康講座を実施するなど、幅広い年齢層に利用していただけるような取り組みをしています。

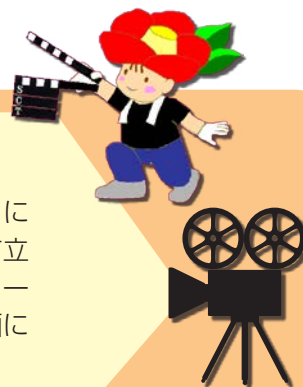


『アルケミスト 夢を旅した少年』
パウロ・コエーリョ／著
株式会社 KADOKAWA

シネマ & ドラマ な図書館！

今年で71回目を迎える毎日映画コンクール。表彰式は2月15日(水)にミューザ川崎シンフォニーホールで開催されます。これにあわせて、川崎市立図書館(分館・閲覧所・改修工事中の幸図書館を除く)では、これまでのコンクールで大賞をとった作品の原作本を集めた特集コーナーを設置します。映画になった作品を、じっくりと読んで楽しんでみませんか？

★開催期間は図書館によって違いますので、各館に直接お問い合わせください。



編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011)	高津図書館(822-2413)	麻生図書館(951-1305)	大師分館(266-3550)	橋 分館(788-1531)
幸 図書館(541-3915)	宮前図書館(888-3918)		田島分館(333-9120)	柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932)	多摩図書館(935-3400)		日吉分館(587-1491)	菅閲覧所(946-3271)